

令和6年度 大阪府立光陽支援学校 第2回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立光陽支援学校
校長名	天野 ちさと

開催日時	令和6年12月3日(火)
開催場所	本館1階 図書室
出席者(委員)	小田 浩伸(会長) 平賀 健太郎(副会長) 鎌倉 義雄(委員) 北埜 恵一(委員) 渡瀬 博子(委員)
出席者(学校)	天野 ちさと(校長) 道前 光司(事務長) 中村 素子(教頭) 藤原 博之(教頭) 竹内 成江(首席) 赤星 哲也(首席) 菊池 亮輔(首席) 佐藤 薫(指導教諭・病弱部主事) 網中 有里(指導栄養教諭) 澤 綾子(指導養護教諭) 辻 美穂(小学部主事) 佐々木 敦子(中学部主事) 田中 美津子(高等部主事)
傍聴者	保護者1名
協議資料	下記議題関係資料
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 「学校経営計画」の進捗状況</p> <p>(3) 「学校教育自己診断」について</p> <p>(4) 「授業アンケート」について</p> <p>(5) 教科用図書 選定報告</p> <p>(6) 意見交換</p> <p>(7) その他・次回連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第3回学校運営協議会(令和7年2月12日(水)実施) ・次年度「学校経営計画」について ・「学校教育自己診断」分析について <p>(8) 教頭挨拶</p>
協議内容・承認事項等(校長より内容説明)
<p>(1) 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席に際してのお礼と2学期までの学校行事の紹介 <p>(2) 「学校経営計画」の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在まだ進行中あるいは検討中のものについては、現時点での評価としている。 <p><u>安全安心力の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハットをポジティブ・インシデントに名称を変更するとともに、校内で意識改革を図った結果、現在10月11月のヒヤリ・ハットの報告件数が大幅に増加している。 ・大災害を想定し、保護者の方や、デイサービスの方にも協力いただきながら、大災害時の引き継ぎ訓練を実施することができた。

授業実践力の向上

・昨年度に完成させたキャリアプランニングマトリックスの活用を進めているところである。指導案や、校内研修会で活用するなど少しずつ進めている。

◇補足（動画）

・病弱部の学習発表会の様子を紹介した。

組織力の向上

・計画通り進んでいる。働き方改革の推進について、各部署で業務改善に取り組んだことを毎月共有している。「業務改善・スリム化事業～ドラえもん事業～」として全校の教職員から業務改善のアイデアを募り、実現可能なものや課題について検討している。「光陽ふわり・ほっと」で集まった事例を職員朝礼で週に1回共有している。読んでちょっとほっこりすることで、また頑張れる気持ちになり、働きやすい環境づくりを進めている。

◇補足

・研修ライブラリ、教材ライブラリの内容説明を行った。

発信力の向上

・（ボッチャ部の活動について）全国大会の方は、結果は残念ではあったが、好プレーとして、全国ボッチャ甲子園大会のホームページに、本校生徒のプレーがアップされた。

・病弱部において、全国院内学級絵画展覧会において金賞や銀賞、銅賞と、多くの賞いただいた。ロボットプログラミング選手権は、結果としては残念ではあったが、一生懸命、プログラミングを考えて、全国選手権に向けて頑張っていた。

・「届け、服のカプロジェクト」が4年目の取り組みになり、地域の小学校等に協力していただき、976枚集まった。本校の保護者の方にも随分協力いただいた。

・近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究会や、大阪府肢体不自由自立活動研究会（教育講演会・夏期講習会）、大阪特別支援教育諸学校造形教育研究会の主管校となり、組織として務めることができた。

◇補足で動画あり

・各活動の紹介を行った。

（3）「学校教育自己診断」について

・保護者・教員は、Google フォームにて、児童生徒は紙面にて実施した。質問項目については、概ね昨年度と同じ形で実施している。集計結果は、第3回運営協議会で報告させていただく。

（4）「授業アンケート」について

・第1回アンケートの結果は概ね肯定的な評価をいただいた。アンケート1は、授業参観。アンケート2は、連絡帳等でのやり取りや、日頃の子どもの様子から考えて記入していただく内容としている。病弱部は、アンケート2のみ実施した。第2回のアンケートについては、第3回運営協議会で報告をさせていただく。

（5）教科用図書 選定報告

・本校の肢体不自由部門と病弱部門それぞれ採択した教科書を示している。病弱部については、原籍校で支給された教科書を使って指導している。

（6）意見交換

委員からの意見の概要に記載

（7）その他・次回連絡

・令和6年度第3回学校運営協議会（令和7年2月12日（水）実施）

- ・次年度「学校経営計画」について
- ・「学校教育自己診断」分析について

(8) 教頭挨拶

委員からの意見の概要

- ・今年度、ポッチャのルールを理解し、3セット購入。体育の時間に障がいのある子どもたちと活用。病弱部の院内学級の映像紹介があり、入院中の患者としての面だけでなく、子どもたちが小中学生として過ごしていることが伝わる内容だった。
- ・教員不足の中で、病弱部の先生が大学生向けに講演を行い、多くの質問を受けた。引き続き発信を強化し、将来の教員育成に寄与していただきたい。
- ・「ふわりほっと」などポジティブな発信がとても良いと思った。教員の魅力を伝えていくツールとなって発信してほしい。
- ・高等学校の定員割れが進行し、入試制度の変更される流れになっている。入試を1ヶ月前倒しすることで、支援が必要な子どもたちの引継ぎ期間を確保できる。今後高等学校の多様化が進み、地域支援センターとしての機能も求められる。
- ・医療的ケアの学校対応が進んでいたが、教育と福祉の現場ではマニュアルの内容(指示された内容)の違いなどがあり、本人、保護者としては混乱しているのではないかと感じる。
- ・通学支援事業が充実しつつあるが、事業者や看護師の確保が難しい状況。
- ・「ポジティブ・インシデント」として前向きな情報共有を推進。報告件数も増加し、情報共有の重要性が高まっている。
- ・コロナ前には新森地区や清水地区で体育館を開放していた。今後の開放については、教育庁の指示内容も確認しながら、地域との協力を検討していきたい。

次回の会議日程

日時	令和7年2月12日(水) 予定
会場	大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室